

施策を構成する事業評価

No.	1	担当課	こども政策課
-----	---	-----	--------

1. 施策名

基本目標	1	子どもがいきいき育つまち【子育て・教育】
政策名	1	安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまちづくり
施策名	1	教育・保育サービスの充実に取り組みます

2. 重点事業

事業名(中分類)	教育・保育施設整備事業		予算事業番号 (予算事業名)	103051(園舎整備等補助費) 110160(園舎整備等補助費)									
事業指標	認定こども園設置数 (公立園を除く通算数)	現状値 (H27(2015))	実績値									目標値 37年度	達成 状況(%)
		0	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	3	233.3%
事業概要	老朽化した施設・設備の整備を計画的に進めるとともに、幼稚園と保育園が一体となった「認定こども園」の設置を推進する。												
取組内容・結果等(D)	H30年度は、H31.4.1開園に向け3箇所こども園化。 ・ひがし保育園と小笠東幼稚園が再編し、認定こども園化。また、みなみ保育園と小笠南幼稚園も同様に再編し、認定こども園化。 ・双葉保育園が認定こども園化。												
課題・問題点等(C)	幼保施設の今後のあり方(適正な集団規模と施設配置)を進める必要がある。また、今後の保育料無償化による保育ニーズの更なる高まりが予想される中、待機児童対策として、新たに保育認定枠の確保や保育士確保に取り組む必要がある。												
今後の方向性(A)	「第2期菊川市子ども・子育て支援事業計画」の策定と共に、新たな小規模保育事業所の開設等により保育認定枠を確保していく。												

事業名(中分類)	多様な子育て支援事業		予算事業番号 (予算事業名)	103074(保育事業費(幼児教育課))									
事業指標	各事業の継続	現状値 (H27(2015))	実績値									目標値 37年度	達成 状況(%)
		継続	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	継続	—
事業概要	私立保育所における乳幼児保育事業、障害児保育事業、延長保育事業等の充実及び継続実施に努める。												
取組内容・結果等(D)	・多様な保育推進事業:1歳児、2歳児を保育する乳幼児保育事業(10園実施)と外国人を保育する外国人児童保育事業(4園実施) ・障害児保育事業:障害児の保育事業(5園実施) ・保育対策等促進事業:延長保育として11時間を越える保育を実施(4園実施) ・年度途中入所サポート事業:市内民間保育所等が年度途中の0歳から2歳児の受入れ事業(10園実施) ・リフレッシュ・一時保育事業:(9園実施)												
課題・問題点等(C)	継続して事業を行えるよう、引き続き保育士確保に向けた取り組みを行う必要がある。												
今後の方向性(A)	市内保育所等と連携し、多様な子育て事業を継続して展開していく。												

3. 基本事業

事業名(中分類)	公立幼稚園の預かり保育事業		予算事業番号 (予算事業名)	110074(北幼稚園管理振興費) 110876(公立認定こども園総務費)								
事業概要	公立幼稚園全園において、開園日の預かり保育・長期休暇中における預かり保育を実施する。											
取組内容・結果等(D)	おおぞら認定こども園と小笠北幼稚園で実施しており、特に小笠北幼稚園では長期休業中の預かり事業を実施していることから、多くの利用実績を得ている。											
課題・問題点等(C)	事業の展開に要する人材不足が生じている。											
今後の方向性(A)	継続して事業を展開していく。											

施策を構成する事業評価

No.	1	担当課	こども政策課
-----	---	-----	--------

1. 施策名

基本目標	1	子どもがいきいき育つまち【子育て・教育】
政策名	1	安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまちづくり
施策名	2	幼児教育・保育の質の向上を目指します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)									
事業指標	現状値 (H27(2015))	実績値									目標値 37年度	達成 状況(%)
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度		
事業概要												
取組内容・結果等(D)												
課題・問題点等(C)												
今後の方向性(A)												

3. 基本事業

事業名(中分類)	育ちの連続性をふまえた教育課程づくり	予算事業番号 (予算事業名)	10011(教育研究推進費(幼児教育課))
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新指導計画の作成、更新 ・各種研修会、研究会 ・特別支援教育の充実 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活や発達を見通しながら、遊びや生活の連続性を考慮し、実態に即した指導計画を作成するよう努めた。 ・県・中部・民間等で開催される研修会に積極的に参加し、職員の資質向上に努めた。 ・各園に配置されている特別支援コーディネーターを中心に、関係機関と連携を図り、個々にあった支援ができるよう手探りでやっているが、専門知識がないため、支援に苦慮している。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいが達成できるよう、子どもが生活する姿や発想を大切に適切な環境を設定し、子どもが主体的に活動できるようにすることが難しい。 ・学びたい研修会には積極的に参加したいが、研修費が限られていることや保育日に研修会に参加する場合の人員確保が難しい。 ・関係機関の助言や援助を活用し、個々の状態にあった指導内容や指導方法を工夫しながら計画的に行うことが難しい。また、個別支援計画の書き方がわかりにくい。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育要領改訂に伴い、中身を熟読しポイントをおさえ、職員間で共通理解を図る。また、育ちに導く連続性のある遊びや生活が展開されるような指導計画を作成する。 ・時間を生み出しながら、自己向上のための研修会に積極的に参加する。 ・関係機関との連携を強化し、個々にあった支援ができるよう、特別支援教育研修会(支援計画の立案の方法)に積極的に参加し、専門知識を高めていく。 		

事業名(中分類)	市内幼児施設との連携強化	予算事業番号 (予算事業名)	103860(児童福祉総務費(幼児教育課))
事業概要	菊川市の公立園、私立幼稚園、民間保育園、認定こども園の職員と一緒に研修会をすることにより、保育の質を向上し、菊川市の幼児教育をよりよいものにする。		
取組内容・結果等(D)	菊川市幼児施設連絡会で主催する園長会12回、研修会3回を実施した。		
課題・問題点等(C)	民間保育所・認定こども園と幼児施設連絡会での研修会や園長会により互いの理解を図るとともに、研修により職員の資質向上を図ることができた。		
今後の方向性(A)	民間保育所・認定こども園と連携を密にし、今後の幼児教育の在り方を検討していく。		

施策を構成する事業評価

No.	1	担当課	こども政策課
-----	---	-----	--------

1. 施策名

基本目標	1	子どもがいきいき育つまち【子育て・教育】
政策名	1	安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまちづくり
施策名	3	安心できる子育て環境を整備します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)									
事業指標	現状値 (H27(2015))	実績値									目標値 37年度	達成 状況(%)
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度		
事業概要												
取組内容・結果等(D)												
課題・問題点等(C)												
今後の方向性(A)												

3. 基本事業

事業名(中分類)	地域子育て支援事業	予算事業番号 (予算事業名)									
事業概要	未就園児への園庭の開放、地域住民との交流活動による地域の「協育力」の向上を支援する。										
取組内容・結果等(D)	おおぞら認定こども園・小笠北幼稚園・小笠東幼稚園・小笠南幼稚園では、未就園児の園開放を実施しており、各園においても地域活動への参加を実施した。										
課題・問題点等(C)	園開放の実施時期や実施回数など、交流の場の提供に努めていく必要がある。										
今後の方向性(A)	今後も継続して地域との交流活動を実施していく。										

施策を構成する事業評価

No.	2	担当課	こども政策課
-----	---	-----	--------

1. 施策名

基本目標	1	子どもがいきいき育つまち【子育て・教育】
政策名	1	安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまちづくり
施策名	4	子育て世代を応援します

2. 重点事業

事業名(中分類)	現状値		実績値								目標値 37年度	達成 状況(%)	
	(H27(2015))		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度			37年度
事業指標													
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	予算事業番号 (予算事業名)	
子育て情報発信事業	103086(総合戦略・子育てアプリ事業費)	
事業概要	子育て世代が必要とする子育て関連の情報を市ホームページ、広報紙、子育て応援アプリ「きくすく」などの情報発信ツールを有効活用し、積極的に情報発信する。	
取組内容・結果等(D)	転入、出生に伴う諸手続きで福祉課窓口へ来訪される方だけではなく、ターゲットが第一子となることから健康づくり課へ協力依頼し、母子手帳交付時にチラシを配布するなど効率的に周知・啓発を行った。また、健康づくり課と連携し、母子健康手帳に関する情報も追加掲載して内容の充実を図った。イベント情報など子育て世代が必要とする最新情報を更新・発信することで、平成30年度におけるダウンロード数は209件、導入当初からの累計ダウンロード数は1,724件となった。	
課題・問題点等(C)	当該アプリは、一定のダウンロード数は得ているが、今後は、利用者の声等に基づいた新しい情報を掲載するなど、子育て世代の方に使ってもらうための改良が必要である。	
今後の方向性(A)	子育て応援課、児童館等と連携し、効率的に当該アプリの周知・啓発を図る。特に第一子出生児の家族、転入者への周知に努める。さらにはイベント情報など最新の子育て関連情報を随時更新し、子育て世代の方に使ってもらうための発信をしていく。	

施策を構成する事業評価

No.	2	担当課	子育て応援課
-----	---	-----	--------

1. 施策名

基本目標	1	子どもがいきいき育つまち【子育て・教育】
政策名	1	安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまちづくり
施策名	4	子育て世代を応援します

2. 重点事業

事業名(中分類)	新生児出産祝金事業		予算事業番号 (予算事業名)	3.2.1.103081(総合戦略・新生児出産祝い事業費)									
事業指標	第2子以降の出生数	現状値 (H27(2015))	実績値									目標値 37年度	達成 状況(%)
		第2子 216人 第3子 156人 第4子 8人 第5子以降2人	29年度 第2子 170人 第3子 43人 第4子 5人	30年度 第2子 173人 第3子 67人 第4子 12人 第5子以降1人	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	第2子 242人 第3子 175人 第4子 9人 第5子以降2人	59.1%
事業概要	<p>・乳児の健やかな成長に寄与するとともに、少子化対策・出生率低下抑制、多子世帯支援及び定住化推進並びに子育て支援に資することを目的に当該祝金を支給する。(祝金の額:第2子100,000円、第3子150,000円、第4子200,000円、第5子以降300,000円)</p> <p>・平成27年4月1日以降に第2子以上を出生した世帯で、その養育者が誕生日から起算して6ヵ月以上前から本市に住所を有し、出生後も引き続き、お子さんと5年以上本市に住む予定のある方を対象にお祝金を支給する。</p>												
取組内容・結果等(D)	<p>・国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)を活用し、平成27年度から当該事業を開始し、平成28年度からは市単独事業として事業実施した。</p> <p>・対象者、支給要件を確認し、適正な給付を実施した(支給件数:235件 支給額:27,450,000円)。また、支給要件確認のための追跡調査も実施した。</p> <p>※支給対象となるのは菊川市に6ヵ月以上居住している世帯に生まれた2子以降の子で、支給を受けるには今後5年間菊川市に定住する旨の誓約書を提出いただいている。</p>												
課題・問題点等(C)	<p>・本事業を出生率の向上や本市への定住促進につなげるため、広く周知を図る必要がある。</p> <p>・支給を受けた方が5年以内に転出した場合には返還義務が発生するため、被支給者について継続的に追跡調査を行う必要がある。</p>												
今後の方向性(A)	<p>・引き続き、対象者に対して適正な給付を実施する。また、受給者の追跡調査を実施し、継続的に支給要件を確認する。</p> <p>・アンケートなどにより支給対象者のニーズ等を把握するとともに、事業の周知・PRを行う。</p> <p>・事業開始時に5年を目途という形でスタートしており、最終年度を迎えることから今後の事業展開を検討していく。</p>												

3. 基本事業

事業名(中分類)	子育て支援センター事業		予算事業番号 (予算事業名)	3.2.1.103048(児童館運営費) 3.2.1.103049(子育て支援センター運営費) 3.2.1.103050(小笠児童館管理費) 3.2.1.103859(児童福祉総務費(福祉課))									
事業概要	<p>・0歳児から18歳未満の児童に遊びを与えながら、健康増進と情操を豊かにするために市内2か所の児童館・子育て支援センターを運営委託先(菊川市社会福祉協議会)と連携を図り、適正に運営・管理をする。</p> <p>・児童健全育成及び児童福祉の向上に寄与する活動を行う市内のみらい子育てネットに対し、補助金を交付し、家庭における児童の健全育成を図る。</p>												
取組内容・結果等(D)	<p>・児童館・子育て支援センターについては運営委託先(菊川市社会福祉協議会)と連携を図り、適正な運営・管理を実施した。来館者は、55,872人(菊川児童館32,881人、小笠児童館22,991人)であった。</p> <p>・小笠児童館を拠点に児童健全育成及び児童福祉の向上に寄与する活動を行うのいちご会に対し、補助金を交付し、運営支援を実施した。</p>												
課題・問題点等(C)	<p>・小笠児童館の修繕箇所など施設管理について、検討していく必要がある。</p> <p>・のいちご会の役員負担が大きく、会員確保が困難となっており、今後の会の存続が危ぶまれている。</p>												
今後の方向性(A)	<p>・運営委託先(菊川市社会福祉協議会)と連携を図り、市内2か所の児童館・子育て支援センターを引き続き、適正に運営・管理をしていく。</p> <p>・児童健全育成及び児童福祉の向上に寄与する活動を行う市内のみらい子育てネットに対し、引き続き、補助金を交付し、家庭における児童の健全育成を図っていく。</p>												